

徳島県立農業学校・徳島県徳島農業高等学校・徳島県城西高等学校
徳島県立徳島農業高等学校・徳島県立城西高等学校



創立120周年 記念式典

と き 令和6年11月2日 [土]
9時30分～
ところ 城西高等学校 体育館



徳島県立城西高等学校

●開会行事 9:30～10:20

- 1 開会のことば
- 2 国歌斉唱
- 3 学校長式辞
- 4 徳島県教育委員会あいさつ
- 5 実行委員会委員長あいさつ
- 6 来賓祝辞
後藤田正純 徳島県知事
元木 章生 徳島県県議会議員
- 7 感謝状贈呈
- 8 来賓紹介及び祝電・祝文披露
- 9 生徒代表あいさつ
- 10 校歌斉唱
- 11 閉式のことば

●記念講演 10:35～11:25

講師 横石 知二 氏 (農業科第21回卒業)

●生徒活動発表会 11:35～11:55

「総合学科の歩み」

総合学科2年 佐野 友輝 大道 桃花
松浦亜友太 湊 優香

「農業4学科10年の歩み」

生産技術科2年 天野 朝登
植物活用科2年 井関 匡咲
食品科学科2年 松村昂乃花
アグリビジネス科2年 秋本 悠花



ごあいさつ



学校長 谷本 晃成



記念事業実行委員会委員長 瀬部 昌秀

同窓会会員のみなさまにおかれましては、平素から母校発展のために格別の御支援と御協力を賜り、深くお礼申し上げます。

本校は、明治37年に徳島県立農業学校として開校以来、おかげさまをもちまして本年4月で創立120周年を迎えることができました。

この度、学校・PTA・同窓会が一丸となり、みなさまのお力添えによって、この素晴らしい伝統と歴史を祝うとともに、母校の飛躍・発展、会員の親睦、情報伝達を目的に、記念式典・各種事業を執り行うことができますことに心より感謝申し上げます。

さて、本校は、これまで校訓「耕心」の精神と、校門の石柱に刻まれた「われらは次代のリーダーである」を合い言葉に、次代を創るという自覚と誇りを持って、前進してまいりました。この間、2万余名の卒業生を社会へ送り出し、その多くの方が地域の担い手として、また各界の指導者として御活躍なさっていることは、我々にとって憧れであり、夢であり、誇りであります。

現在、国際情勢の不安定化や激甚化・頻発化する自然災害など、将来の予測が困難な時代といわれていますが、本校では、最先端のデジタル環境による教育DXを実践し、全ての人の可能性を引き出し、広げられるよう、「城西高校」の歴史と伝統と地域とのつながりを力として、持続可能な社会の創り手を育成してまいります。

今後とも皆さまに御指導御鞭撻いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

徳島県立城西高等学校創立120周年記念講演

演題 落羽松が育つ校庭でやる気を栽培
～人生いりどりもうヒトハナ咲かそ～

講師 横石 知二 氏 (株式会社いりどり 代表取締役社長)



プロフィール

1958年生まれ、徳島県徳島市出身。1977年徳島県立徳島農業高等学校卒業。
徳島県農業大学校を卒業後、上勝町農業協同組合へ営農指導員として入社。
1986年 彩を開発し、山の資源を生かした商品開発で全国的な注目を浴びる。
1996年 産業情報センターと株式会社いりどりの責任者として、彩を始めとした特産品の企画販売を行う。
また、高齢者が使える情報ネットワークシステムを開発。
1999年 株式会社いりどりを設立。
2007年 ニュースウィーク日本版「世界を変える社会起業家100人」に選出される。
2009年 代表取締役社長に就任。
徳島大学客員教授や四国大学特任教授、農林水産省農山漁村有識者懇談会委員、総務省ふるさとづくり懇談会委員などを歴任。
アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー日本大会特別賞、地域活性化貢献特別賞、日本ソフト化大賞、日経情報化大賞CAN、フィランソロピー大賞、ソーシャルビジネス賞、マーケティング大賞、徳島県知事表彰、徳島新聞賞など受賞。

創立120周年記念事業

- 1 記念式典挙行
- 2 教育環境充実
 - ア 体育館ステージ緞帳(サイド幕)の新調
 - イ 体育館式典・行事用パネルの設置
 - ウ 耕心館パネルの更新
 - エ 校内図看板の新調
 - オ 掲示板の設置
 - カ 防犯カメラ(110周年記念品)の更新
- 3 記念誌(校誌「落羽松」創立120周年記念号)発刊

一 新しい風が
花の香りを運んで来て
学舎にひかりが溢れる
ひとりひとりの未来が創られ
次の世代へ 次の世代へ
城西の歴史がつながる

二 空を支える
落羽松のみどり豊かな
学舎に心が弾む
ひとりひとりの若さが燃えて
次の世代へ 次の世代へ
城西の夢がふくらむ

三 尽きることなく
生命の泉湧き出して
学舎にことばが流れる
ひとりひとりの個性が育ち
次の世代へ 次の世代へ
城西の明日を歌おう

城西高等学校校歌
竹原茂雄 作詞
松岡貴史 作曲

沿革

明治37年4月30日	徳島県立農業学校創立、開校	昭和56年3月31日	佐那河内分校廃止
大正4年4月30日	創立10周年記念式典挙行	昭和59年4月8日	創立80周年記念式典挙行
大正10年4月9日	林業科を置く。	昭和62年11月22日	神山分校創立40周年記念式典挙行
昭和18年4月6日	農業土木科新設	平成6年4月30日	創立90周年記念式典挙行
昭和20年3月27日	女子部新設	平成9年4月1日	徳島県立城西高等学校と改称、農業科、施設園芸科、農林土木科、食品科、家政科の募集を停止し、農業科学類、総合学科を設置
昭和22年4月1日	新制中学校併設	平成9年11月8日	神山分校創立50周年記念式典挙行
昭和23年4月1日	徳島県立農業学校を廃止し、徳島県徳島農業高等学校となる。農業、林業、農業土木、農産製造、農林（神領）の各科を置く。女子部は女子農業科と改称。定時制に中心校、国府、佐那河内、神領、上分上山にそれぞれ分校を置く。	平成10年1月20日	校旗樹立・校歌制定式典挙行
昭和24年4月1日	徳島県城西高等学校となる。普通課程・農業課程・林業課程・農業土木課程・農産製造過程・農村家庭課程を置く。	平成10年3月10日	総合学科棟竣工
昭和26年4月1日	定時制北井上分校新設	平成16年4月1日	農業科学類の募集を停止し、農業科学科を設置
昭和27年4月1日	国府分校廃止、中心校と合併	平成16年9月25日	クラブハウス完成
昭和28年7月10日	北井上分校を名東分校と呼称	平成16年10月7日	創立100周年記念フォーラム開催
昭和30年11月12日	創立50周年記念式典挙行、体育館落成	平成16年10月22日	創立100周年記念式典挙行
昭和31年4月1日	徳島県立徳島農業高等学校と改称、普通課程廃止、農産製造課程を農芸化学課程と改称、小松島高校園芸科を吸収、横瀬園芸教室とする。名東分校廃止	平成17年3月5日	創立100周年資料室「耕心館」竣工
昭和32年4月1日	名西高校広野分校を吸収、上山、神領、広野各分校を神山分校上分校舎、神領校舎、広野校舎と改称	平成17年7月1日	空調設備の設置
昭和34年4月1日	定時制の中心校廃止	平成18年10月1日	運動場夜間照明設備完成
昭和35年4月1日	横瀬園芸教室、神山農林教室をそれぞれ勝浦分校、神山分校とする。	平成20年11月15日	神山分校創立60周年記念式典挙行
昭和38年4月1日	神山分校定時制を廃し、全日制となる。（神領、広野）農村家庭課程を生活科と改称、専攻科設置、課程を廃し科となる。	平成21年2月27日	校舎耐震改修工事竣工
昭和38年11月23日	創立60周年記念式典、新築校舎落成式挙行	平成24年4月1日	農業科学科の募集を停止し、生産技術科、植物活用科、食品料学科を設置
昭和39年3月31日	神山分校上分校舎廃止	平成27年1月24日	創立110周年記念式典挙行
昭和39年4月1日	勝浦分校独立し勝浦園芸高等学校となる。	平成29年4月1日	アグリビジネス科を設置
昭和45年3月31日	専攻科廃止	平成30年3月28日	アグリビジネス棟竣工
昭和47年3月31日	神山分校広野校舎廃止	平成30年11月17日	神山分校創立70周年記念式典挙行
昭和49年4月1日	施設園芸科新設、農芸化学科、神山分校農林科の募集を停止し、食品科、造園土木科を設置する。	平成31年4月1日	神山分校から神山校に改称、造園土木科、生活科の募集を停止し、地域創生類を設置
昭和51年4月30日	創立70周年記念式典、体育館新築落成式挙行	令和3年3月22日	野菜実習棟改修工事完成
昭和52年4月1日	本校生活科の募集を停止し、家政科を新設	令和3年10月15日	水理実習棟からビームライフル射撃場への改修工事完成
昭和53年4月1日	林業家・農業土木科の募集を停止し、農林土木科設置、佐那河内分校農業科の募集停止	令和4年1月17日	農場管理棟改修工事完成
昭和54年3月31日	生活科廃止		

実行委員会

名誉会長 福居 幸治

委員長(徳農・城西同窓会会長) 瀬部 昌秀

副委員長 田中 克彦 岡本 三郎 戎 芳郎 辻 三枝子 大古 香織
豆成 博美 (PTA会長) 谷本 晃成 (学校長)

実行委員会 原 仁志 一村 昌和 中野 直行 本田 治久 福山 正文
竹内 政幸 立川 信彦 久保 素弘 麻植 芳靖 栗飯原稔仁
七条 和義 池田 勝彦 仲野 節 川西 和男
監 事 井上 武 佐野 善作 浜田 宏昭